

## 特集序言

# 「イオン液体の最新動向」の 企画と編集にあたって

村 岡 雅 弘

(大阪工業大学工学部)

イオン液体は各種陽イオン（カチオン）と陰イオン（アニオン）から成る塩で、幅広い温度範囲で液体状態であり、蒸気圧がほとんどない、引火性、可燃性がない、熱安定性が高い、比較的低粘性である、イオン伝導性が高い、などの特徴を備えています。これまでに、イオン液体の分子設計から多岐にわたる構造や組み合わせが検討されており、目的に応じた物性付与が行われてきました。それと同時に、多種類の特性を有するイオン液体の多方面での応用研究や用途開発も活発に行われており、今後も様々な分野での応用展開が期待されています。

本特集では、このようなイオン液体の利用研究に関する最新動向について、エネルギー材料化学、電気化学、有機化学分野でご活躍されている三組の先生方にご執筆いただきました。

鳥取大学の伊藤敏幸先生、野上敏材先生には、有機合成化学へのイオン液体の利用についてご執筆いただきました。京都大学の萩原理加先生、松本一彦先生、野平俊之先生には、中低温イオン液体の二次電池電解質への応用についてご執筆いただきました。関西大学の石川正司先生には、イオン液体リチウム二次電池の実現と応用についてご執筆いただきました。執筆いただきました先生方からは最新の話題をご提供いただき、イオン液体の利用研究に関して学術的に捉えた特集に仕上がりました。

本特集が、「オレオサイエンス」読者の皆様の今後の研究・開発にお役に立てれば幸いです。また、年度末のご多忙中ご執筆いただきました三組の先生方にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。